



直江津港湾協会だより



No.4

令和4年6月15日

梅雨が明けると、海や港はハイシーズンを迎えます。当協会では、7月18日の「海の日」に向け、安全祈願祭や親善ソフトボール大会の準備を進めています。

1. 令和4年度通常総会を開催しました

令和4年5月10日

5月10日(火)に通常総会を開催しました。村山秀幸・前会長(前上越市長)が退任した後、空席となっていた会長には中川幹太・上越市長が就任しました。



また、一年間の活動方針、収支予算が承認されました。総会に続き講演会では、新潟県交通政策局長の佐瀬浩市様から、新潟県におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組について講演、脱炭素社会における港の役割と検討事例などの紹介がありました。



さらに、3年ぶりとなる懇親会も開催し、皆さんで親睦を図りました。

直江津港湾協会は新体制となり、さらなる直江津港の発展に向け、会員の皆様及び国や新潟県、上越市と連携してまいります。

2. 佐渡航路(直江津~小木)の運航が再開されました

令和4年4月29日

4月29日(金・祝)に、佐渡航路(直江津~小木)の運航が再開されました。



第1便出航前には歓送イベントが行われ、佐渡汽船(株)の尾渡社長、新潟県上越地域振興局の市川局長、上越市の中川市長が出席したほか、「保倉川太鼓」や「上越忠義隊けんけんず」が見送りをしました。



▲ 佐渡汽船 HP

佐渡には、世界文化遺産の推薦が決まった「佐渡島の金山」をはじめ、人々を魅了する風景で溢れています。ぜひ佐渡へ行きませんか。

(上越勤労者福祉サービスセンターのさくちゃん補助券も使えます)

【運航期間】

令和4年4月29日(金・祝)~10月31日(月)



3. 税関150周年

私たちの生活を支えてくれている税関が、11月28日(月)に150周年を迎えます。直江津港においても、違法な物品等が国内に持ち込まれないように取り締まりを行うなど、私たちの安全・安心な社会のため、日々奮闘されています。



税関の使命

経済活動のグローバル化が急速に進む中、3つの使命を税関は果たしています

- 1. 安全・安心な社会を実現する** 銃器・不正薬物・知的財産侵害物品等の密輸を防止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築
- 2. 適正かつ公平に関税等を徴収する** 約9.1兆円すなわち国税収入の約14.1%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収
- 3. 貿易の円滑化を進める** 国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化

税関ホームページより引用
(<https://www.customs.go.jp/saiyou/pdf/2022/sougou/P3-4.pdf>)
(<https://www.customs.go.jp/zeikan/150logo.htm>)

4. 今年も直江津港見学会が開催されます

上越市では、昨年度に引き続き、8月~10月に直江津港や海に関わる仕事を紹介する見学会を開催します。今後、広報上越や市ホームページなどを通じて募集するので、ぜひご参加ください。なお、当協会は、この見学会に協賛し、港の賑わい創出に協力します。



昨年度の様子

5. 釣り場が賑わいを見せています

荒浜ふ頭東側にある「直江津港第3東防波堤管理釣り場」は多くの釣り客でにぎわっています。この時期は、タイやアジが釣れているとのこと。直江津の「YAGAIYA」などでは、有料で釣った魚を調理してくれます。(注意事項)・小学生未満の入場不可
・ライフジャケットの着用必須



6. ハマナスの植栽

佐渡汽船ターミナル前に、直江津ロータリークラブと直江津ローターアクトクラブがハマナスを植栽しました。約3年で花を咲かせるということで、とても楽しみです。



今後の予定

今年の海の日(7月18日(月・祝))です。
7月16日(土)に海の日親善ソフトボール大会を、7月19日(火)に直江津港における安全をお祈りする「安全祈願祭」、安全運航を願う「在港船船員の激励」を実施予定です。別途案内を送付いたします。



